

山東小学校

地域の軌跡をたどり、
愛する地域の姿を
次の世代へ

10周年記念で山東小の軌跡を伝える瀬戸川さん▶
▼校舎建築の様子を伝える掲示物(3年生児童作成)



山東小学校もコミュニティ・スクールを導入して2年目。今年度は、山東西小学校と山東東小学校が統合し、10年となる節目の年です。10月に開催した記念イベントでは70年以上この地域で暮らす瀬戸川恒雄さんから西小と東小それぞれの前身となる小学校の歴史までさかのぼり、貴重な写真や映像とともに学校の歩みが伝えられました。

また別の日には、4年生の菅江トネル建造の歴史学習が行われました。ここで講師を務めるのは、高森慶司さん。約130年前、このトネルの建設を各方面に呼び掛け、完成に導いた高森慶司さんのひ孫にあたります。

当時の人たちの生活を体験しようとして実際に山道を歩いてトネルの向こうの鳥羽上(長浜市)へ。慶司さんからはトネル建設の反対意見を受けながらも諦めず地域のために取り組んだ慶多郎さんの熱意が伝えられました。

「地域への恩返しになれば」慶司さんは、そんな思いでこの学習を10年にわたり支援しています。

長年この地で生きてきた地元の人々の「生の言葉」で語られる話は、子どもたちにとって何よりも貴重な教材になっています。



大東中学校

地域の宝を見つめ直し、
通いたい、通わせたい、
関わりたい学校へ

オレンジに色づき始めた紅葉やゆったり泳ぐカモの様子を楽しみながらのスケッチです



今年度からコミュニティ・スクールを導入した大東中学校。

「『支える』というより『学校のため何か出来たら』という気持ちで、地域や保護者のみなさんが気軽に学校に関われる、そんな身近な学校を目指しています」と一ノ宮校長先生。

今年度の一大イベントは11月に開催した1年生の三島池写生大会です。学校のすぐ側にある三島池は地元のみなさんが誇る大切な地域の宝の一つです。

生徒たちは、さわやかな秋晴れの下、時折、地域の方との会話を楽しみながら、筆を進めていました。

12月には大東中の卒業生でもある箕浦政直さんが講師となり3年生への人権学習が行われました。自身中学校時代のエピソードも交えながら、生徒たちに伝えるのは「固定観念や偏見にとらわれない、人を大切にする見方」です。これからの時代を生きる後輩への期待とエールを込めた言葉は生徒たちの心に響いたことと思います。



長年、社会科教員として教育に携わっていた箕浦さんから「こんな見方はどう?」と例題やクイズが出されます。生徒たちは真剣に考え、箕浦さんの話に聞き入っていました。